木曽川水系相川　洪水浸水想定区域図
（家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)）

1　説明文

（1）この図は、木曽川水系相川の水位周知区間等について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）を表示した図面です。

（2）この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公表時点の相川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により相川の河岸の侵食幅を予測したものです。

（3）また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、相川の河岸が侵食された場合における、家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものですが、個々の家屋の構造・強度特性等の違いから、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意してください。

2　基本事項等

（1）作成主体　　岐阜県大垣土木事務所

（2）公表年月日　　平成31年3月29日

（3）対象となる水位周知河川

・木曽川水系相川（実施区間）

大垣市十六町地先（荒崎新橋）から

大垣市綾野町地先（泥川合流点）まで

（4）対象となる河川

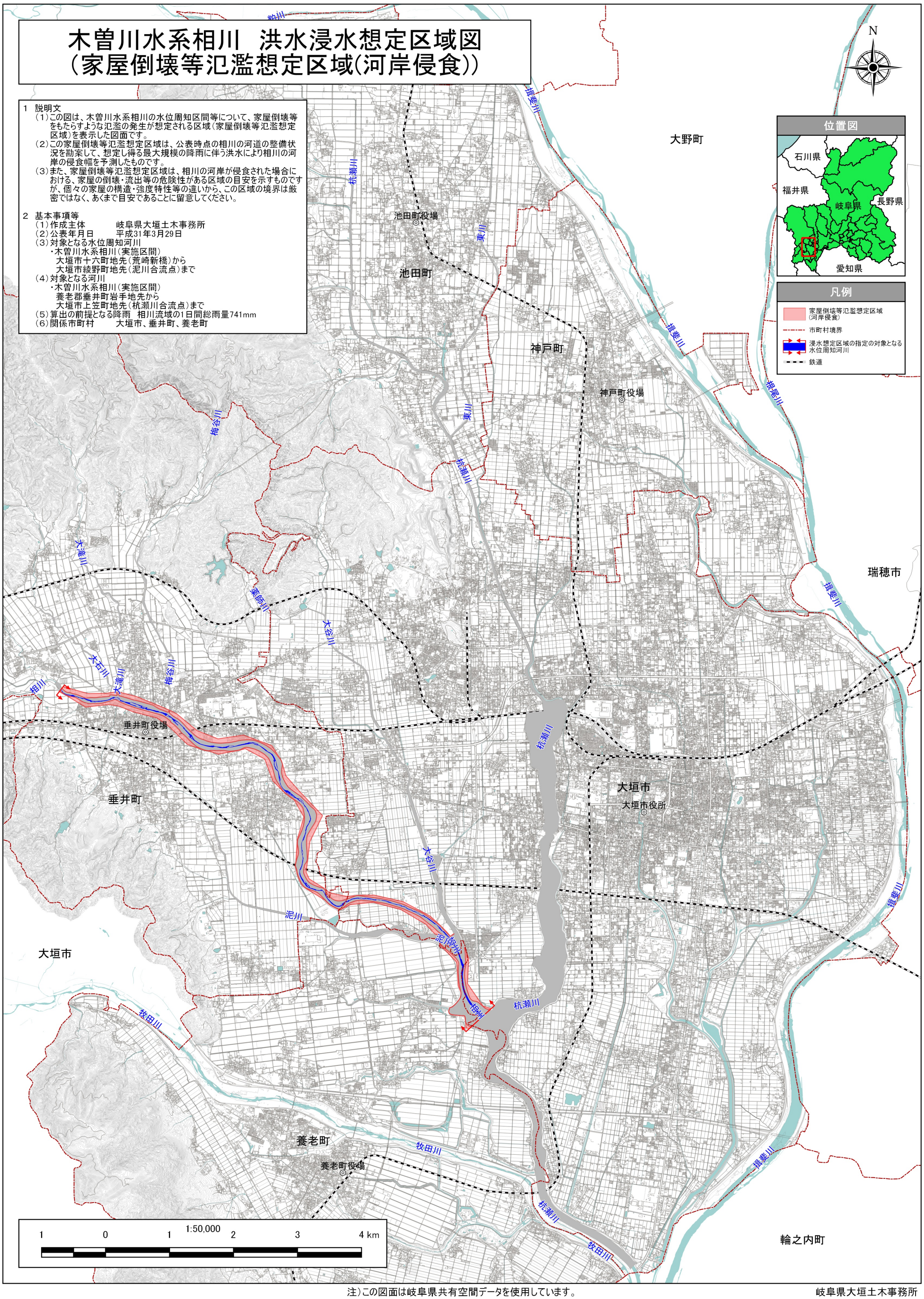
・木曽川水系相川（実施区間）

養老郡垂井町岩手地先から

大垣市上笠町地先（杭瀬川合流点）まで

（5）算出の前提となる降雨　相川流域の1日間総雨量741mm

（6）関係市町村　　大垣市、垂井町、養老町



注）この図面は岐阜県共有空間データを使用しています。

岐阜県大垣土木事務所